

長崎総科大やNTTドコモ



基本合意書を締結した浅井部長(左から2人目)、黒川学長(同3人目)ら
—長崎市役所

太陽電池から高効率で給電

NTTドコモ(東京)、
長崎総合科学大(長崎
市)、NTTデバイス
ロステクノロジ(川崎市)
は12日、高電圧で直流の
まま送ることができる小
型で軽量の電力変換器
や、太陽光パネルから携
帯電話の基地局に高効率
で給電するシステムの開
発、実用化に向けた実証
事業に取り組む基本合意
書を締結した。

この高電圧を、基地局で
使用する電源電圧48V程
度に一度に変換する技術
確立を目指しており、実
現すれば世界初。他の産
業での活用も期待できる
という。

ドコモは太陽光パネル
や蓄電池を導入した「グ
リーン基地局」の整備を
全国的に推進。2030
年までに温室効果ガス排
出量を実質ゼロにするカ
ーボンニュートラルの実
現を目指しており、電力
変換器などの研究実績が
ある同大やNTTデバイ
ス社と実証事業に取り組
むことにした。

市役所であった調印式
で、鈴木史朗市長立ち会
いの下、3者の代表が合
意書に署名。ドコモの浅
井孝浩クロステック開発
部長は「長崎での取り組
みを初として技術を確立
し、全国的に広めていき
たい」とあいさつした。

電力制御分野の第一人
者である同大の黒川不二
雄学長によると、12000
半減させる。

電時の電力損失を現行の
35%程度から15%以内に
半減させる。

実証事業は本年度、環
境省の事業採択を受け、
26年度までの3カ年で委
託費は総額約6億3千万
(養川裕之)

携帯基地局へ実証事業で基本合意

(養川裕之)